

Ryutaro Kuno



▶ジャパンパラ陸上大会

5月に行われた2026ジャパンパラ陸上競技大会で視覚障がいT12男子100mの部で優勝した久野竜太郎さん（27歳・市内在住）。世界パラ陸上選手権大会（2025・ニューデリー）では銀メダルを獲得し、自己ベストタイムは10秒91という注目のアスリートです。久野さんが本格的に陸上競技を始めたのは約3年前の24歳の時。競技との出会いは成人後に通った盲学校でした。

久野さんは、小学2年の時に視野の欠けや、光を感じづらくなる網膜色素変性症の診断を受けました。幸い進行は遅く、高校を卒業後には車の免許を取り、成人式や就職を祝うなど、いわゆる普通の生活を送っていたといいます。ところが、モニターを見る仕事で目に負担がかかり、病が急激に悪化。退職を余儀なくされます。暗くなる視野に初めて自身の障がいを意識し「人生の全てが奪われていく気がした」と話します。

こどもたちの姿に、踏み出す力をもたう

これからという時期に味わったどん底の時間。人生のかじを切るしかなく、あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得を目指し、盲学校に通い始めます。突然変わった自分の進路に、始めは前向きになれなかったと話します。

そのような中、重い障がいのある生徒らが、学校でひたむきに運動や音楽に取り組む姿を見て「自分が頑張らない理由がない」と思うようになります。全力で走り陸上競技大会で優勝したときに、みんなが大喜びする姿を見て、陸上の道に取り組むことを決意。

2025世界パラ陸上視覚障がいT12男子100m 銀メダリスト

久野 竜太郎

シンプレクス・ホールディングス株式会社



卒業後、アスリート社員として、シンプレクス・ホールディングス(株)に就職します。

周囲の人とともに歩むパラ競技者の道

現在は、盲学校や所属先などから紹介を受け、中部大学や至学館大学の競技場、陸上クラブ「ACC(宮)」の練習場などでトレーニングを積んでいます。

「明るい時間内だけという制限の中、練習場所の提供を受けたり、会場まで車に乗せてもらったりと、本当に周りの人の支えがあって、競技に打ち込めています。また、いろいろな経歴を持つ先輩方の背中を見て、将来の自分の姿を想像するなど、たくさんのかたちを学ばせてもらっています」と話す久野さん。自らのタイムを追う根底には、支えてくれる周囲の人たちへの感謝の思いがあります。

タイムが伸び悩んだ時期に、真摯にアドバイスをくれたというACC一宮所属の石黒文康さんとは、それ以来、ともに頂点を目指す良き仲間となりました。石黒さんは「アジアだけではなく、世界を取れる選手になると信じています」と期待を込めます。

目指すのは、愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会と、2028年ロサンゼルスパラリンピックの金メダル。何事も正面から受け止め、誠実に向き合い解決しようとする久野さん。障がいがあっても前向きに生きていけることを、全力疾走で伝えたいと話します。



▶ACC一宮の石黒さんと

Para Sprint



スポーツ フルスロットル

Sports Full Throttle!

大府のアスリートたち



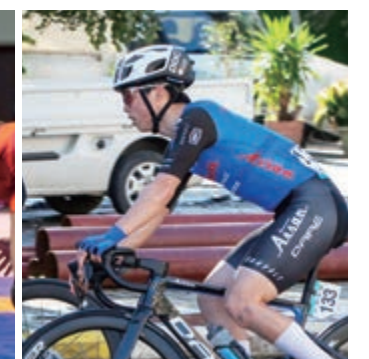
©Rentaro Sakae



提供 愛三工業陸上競技部



提供 至学館大学女子レスリング部



©愛三工業レーシングチーム 山内漢太

地道なトレーニングを繰り返し、人生を懸けて結果を追うアスリートたち。失敗も不条理も受け止め、果敢に目標に向かう姿勢は、見る者を熱くさせます。市内には、世界を相手に日々鍛錬を積むアスリートや、全国制覇に挑むこどもたち、また、生涯を通して楽しめるスポーツの普及に取り組む人たちがいます。スポーツのもたらす感動や楽しさを味わってみませんか。

スポーツ振興室 ☎0562(45)6233

至学館大学出身で市内の企業KeePer技研株式の所属アスリート、吉元玲美那さん。小柄で穏やかな雰囲気をもっていますが、レスリング女子50kg級で何度も全日本・世界を制覇している実力派です。

レスリングを始めたきっかけ・魅力は

埼玉県出身で、兄が習っていたので私も3歳から始めました。小さい頃はあまり意欲的に練習していませんでしたが、全国大会に出るようになってきてから徐々に意識が変わってきたと思います。レスリングの良いところは繰り返し練習すればできるようになることです。試合の時に、体が覚えたことが出てくるという感じです。

試合前のルーティンなどはありますか

試合を意識しすぎないように、あえていつも通りを意識します。家での過ごし方も実は決まっています。どんなことかは、内緒です(笑)。

今後の目標を教えてください

今けがをしてしまっているので、しっかり治して12月の天皇杯に出場したいです。



Wrestling

Remina Yoshimoto

KeePer技研株式会社 吉元 玲美那

▲明治杯(2023)



©Rentaro Sakae

市内に拠点を置き、世界を股に掛け活躍する愛三工業レーシングチーム。地域密着の活動も多く、チームトラックにはおぶちゃんのイラストが。6月の全日本自転車競技選手権大会では、見事日本一に輝きました。チーム所属の宇田川壘さんに聞きました。

自転車ロードレースとはどんな競技ですか

舗装された一般道や山道走る競技です。チームメンバーがエースを勝たせるために、アシスト(風よけ)となるなど、駆け引きや戦術も必要です。学生のロードレースは個人競技ですが、プロチームは、団体競技の要素が強いですね。

競技の見どころを教えてください

それぞれのチームに戦略や駆け引きがあります。私が優勝したツアー・オブ・ジャパンの美濃ステージ(2025年)では、レース展開の中でチームメイトが私に勝負を託してくれて、勝ち切ることができました。チームの中のつながりが見えると面白いですよ。

普段住んでいる街が会場となり、観戦時には、選手の息遣いや自転車が通り過ぎる時の風を感じられるのも魅力のひとつだと思います。



Cycle Road Race

Rui Udagawa

愛三工業レーシングチーム 宇田川 壘

▶チームでつかった全日本の優勝



©愛三工業レーシングチーム 山内溪太



3000m障害レースでトップクラスの実力を持つ新家裕太郎選手。ニューイヤー駅伝の常連であり、長距離走者がそろう愛三工業陸上競技部に所属しています。

3000m障害とはどんな競技ですか

陸上トラック400mを7周半走り、その間にハードル28回と水濠7回の計35回の障害を全力で駆け抜けます。水濠を飛び越える様子はダイナミックですよ。

日頃の練習や、競技との向き合い方は

早朝から市役所前に集まり、チームメイトと走っています。あいち健康の森公園でもよく練習しています。厳しい練習の合間に食べるご褒美スイーツは絶品です(笑)。

こどもの頃走るのが特別速かったわけではありませんが、走ることが好きでした。得意不得意ではなく、そのスポーツを楽しむことがまずは大切なのだと思います。

今後の目標を教えてください

2027年の北京世界陸上競技選手権大会への出場と、1月のニューイヤー駅伝でチームで入賞することです。ぜひ応援をお願いします。



提供 愛三工業陸上競技部

3000m Steeplechase

Yutaro Niinae

新家 裕太郎 愛三工業陸上競技部

▲日本陸上選手権(2026)



三重県津市に生まれ、吉田沙保里さんに憧れてレスリングの道を歩み、至学館高校・大学へと進んだ森川晴風さん。国際大会のシニアランキングシリーズ・ザグレブ・オープンで優勝、5月の明治杯全日本選抜レスリング選手権大会でも3位に輝きました。

レスリングを始めたきっかけや日頃の練習について教えてください

レスリングは、姉の影響で3歳から始めました。勝つとうれしくて、その気持ちをまた味わいたくて練習しています。得意技は相手を動かしてタックルに入り込みやすい形を作る「差し」。試合前には対戦相手の戦い方をしっかりと研究しています。

けがなどをしたことはないですか

高校3年のときに大きなけがをしました。1年間マットに立てず焦りましたが、同時期に負傷した先輩が筋トレに励むのを見て、その姿を追いました。

今後の目標を教えてください

8月には全日本学生レスリング選手権、12月には天皇杯があります。勝ちを積み上げて優勝して、皆さんにもっとレスリングの面白さを知ってもらいたいです。



提供 至学館大学女子レスリング部

Wrestling

Haruna Morikawa

森川 晴風

至学館大学

▲天皇杯全日本選手権(2025)



ナイス! モルック!

市スポーツ推進委員会

「やったあ!」「ナイス! モルック!」と歓声が上がります。市スポーツ推進委員会主催のモルック体験会。モルックという木の棒を投げてピンを倒し、50点ちょうどを目指して競うゲームです。日頃運動習慣の無い人たちも気軽に楽しめることをテーマに、推進委員の皆さんが、安全に体を動かす機会を作っています。

モルック検定にチャレンジ!



倒した木製ピンの点数によるグレード認定やキャラクターの作成など、市スポーツ推進委員会が、誰でも楽しく行えるよう、さまざまな工夫をしています。

モルック、楽しいですよ!



愛知・名古屋2026 アジア競技大会・アジアパラ競技大会

愛知・名古屋2026 アジア競技大会・アジアパラ競技大会に、小・中学生を招待します

市内の小・中学生と保護者の皆さんを、ペアで招待します。



▶当選者数 458組916人(抽選・競技ごとに設定) ▶申込 8/10(月) 17:00までに市ウェブサイトへ。
▶料金 無料

競技	日程	場所
サッカー	9/20(日)・26(土)・10/3(土)のいずれか	豊田スタジアム
パラ陸上	10/20(火)・21(水)のいずれか	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
柔道・陸上・バスケットボール・フェンシング・車いすバスケ	(土)・(日)・祝日(詳細は市ウェブサイトへ)	愛知国際アリーナ・名古屋市瑞穂公園陸上競技場など

抽選申込に関する問い合わせ スポーツ振興室 ☎0562(45)6233

聖火リレーを開催します

PRランナーの皆さんが、大会の聖火をつなぎます。

▶日時 9/12(土) 15:00~15:30
▶場所 至学館大学
▶申込 不要

※リレーは大学構内で行います。
車でお越しの方は、二ツ池公園駐車場をご利用ください。

PRランナーの皆さん



元レスリング女子日本代表
土性沙羅さん



パラ陸上選手
久野竜太郎さん



バイオリニスト・市広報大使
竹澤恭子さん



Snowboarding

小学6年からアルペンスノーボードを始めました。重力や遠心力を意識し、タイムを縮められるか研究しています。

Tokai Carving Base様をはじめ、各コーチの協力のもと、結果につながるよう、日々トレーニングを積んでいます。



0.1秒を競うワクワク感が魅力です。世界選手権で結果を残すことが目標です。

大府高等学校1年

石井 絢翔

Ayato Ishii



Badminton

競技力向上のため日々試行錯誤を重ねています。高校入学後は積極的にアドバイスを求め、思うようにいかないときは原因を突き詰めて練習方法を改善しています。

目標はJOCジュニアオリンピックカップで優勝することです。

長いラリーを取れた時がうれしいです。周りの方に応援される選手になりたいです。

名古屋経済大学市邨高等学校1年

高田 万智

Machi Takada



Soft tennis

小学2年から始め、目標にしていた全国制覇と日本代表への選抜入りを果たしました。チームで声を出し合い、周りの動きを計算して動くのがとても楽しいです。

「応援される人になろう」をモットーに、日常生活も意識して過ごしています。



尊敬できる指導者に恵まれたと思っています。みなさんの喜ぶ顔が見たくて頑張っています。

大府北中学校3年

當房 琉生

Rui Tobo



Skateboarding

お父さんがサーフボードの練習でスケートボードをしていたのを見て、小学1年から始めました。仲間同士で技を見せ合うことや、技を練習してできるようになるのが楽しいです。毎回自分の中で目標を決めて、クリアできるまで練習しています。

得意技は「サラダグラインド」。今は技のクオリティとメイク率を上げるよう練習しています。

石ヶ瀬小学校6年

戸高 暖大

Haruto Todaka